



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

Sophia Open Research Weeks 2021

5th Nov. — 23rd Nov. Sophia University



し 対 世 研
よ 話 界 究
う と で

キリスト教文化研究所 / 中世思想研究所 / イベロアメリカ研究所 / 国際言語情報研究所
グローバル・コンサーン研究所 / 比較文化研究所 / ヨーロッパ研究所 / アジア文化研究所
アメリカ・カナダ研究所 / 地球環境研究所 / メディア・ジャーナリズム研究所
ナノテクノロジー研究センター / イスラーム研究センター / フォトニクス研究センター
半導体研究所 / 重点領域研究採択課題 / 理工学専攻生物科学領域

ソフィア・オープン・リサーチ・ウィークス 2021年11月5日 金 — 23日 火

主催：上智大学 研究機構 後援：千代田区

講演会・シンポジウム等の各企画詳細はコチラ 



Sophia Open Research Weeks 2021

Sophia Open Research Weeks 2021 へようこそ。



上智大学研究機構長 飯島真里子

上智大学研究機構では、機構に所属する学内研究所の研究成果の発信の場として Sophia Open Research Weeks を企画し、今年で8回目を迎えます。11月5日から始まる2週間では、多岐にわたる専門分野の講演会、シンポジウム、展示など21企画が開催されます。今年のテーマは、「研究で世界と対話しよう」です。長期化するコロナの影響により、

私たちは、これまで「当たり前」と思っていたことができない状況におかれています。その一つが、人と人との「対話」です。私たちを取り巻く社会や世界との繋がりが希薄になりつつある今、どのようにその繋がりを維持し広げていくかは、大きな課題です。昨年に引き続き、多くの企画がオンライン配信を行っております。様々な企画にご参加頂くことで、研究を通じて世界と繋がるだけでなく、講演者や参加者との活発な対話を通じて、多くの刺激と希望を得られる機会となれば幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

11/2^{ue}
~12/17^{fr}

展示

ブックフェア「差別と心理学」

>>> 展示 (中央図書館1階展示スペース)

12月4～5日の国際基督教大学社会科学研究所との共催国際シンポジウム「差別と心理学」のプレ / アフターイベントとして中央図書館1階で開催。シンポジウム登壇者の著書や推薦図書および関連書籍を展示し、所員や職員による推薦文を付け、マイクロアグレッションをはじめとする差別への関心を喚起する。(日本語・英語)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 不要
- 主催: グローバル・コンサーン研究所 (問い合わせ i-glocon@sophia.ac.jp)

11/6^{sat}

講演会

"Sushi Before Sushi, Umami Before Umami" The Hidden (Fermented) History of Japanese Food by Dr. Eric Rath >>> Zoom 10:00~12:00

Sushi's appearance in US grocery stores, usually coated in sauces, demonstrates how a simple dish evolves as it globalizes. But sushi was a much different recipe 1,200 years ago when it was first mentioned in Japanese records. Studying this "ancient" fermented sushi enriches our understanding of the culinary past and offers new taste profiles for the future. (英語開催: 通訳なし)

- 主な対象者: 大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: 比較文化研究所 (問い合わせ diricc@sophia.ac.jp)

11/6^{sat}

シンポジウム

「地域発:脱グローバル経済の未来」第2回:都会と田舎の壁を超える里山コモンズ-房総半島・釜沼集落の共感経済

>>> Zoom 14:30~16:30

2020年のシンポジウム「脱グローバル経済の未来を描く」で紹介された地域発の実践例を掘り下げ、これまでとは異なる社会と経済の在り方を考察する。2021年度はシリーズ企画とし、第2回の本企画は千葉県の上野原コモンズを取り上げ、私たちが生活者として生きるための心の豊かさ、コミュニティの意義と地球の健康を取り戻すヒントを見出したい。(日本語開催)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: グローバル・コンサーン研究所 (問い合わせ i-glocon@sophia.ac.jp)

11/9^{tue}

講演会

演劇と身体—日本とヨーロッパの伝統演劇を例に

>>> ZoomまたはYouTubeライブ配信を予定 17:20~19:00

観世流能楽師 河村晴久氏をお招きして、日本の伝統舞台芸術とヨーロッパ劇の演劇性を、能楽、古代ギリシャ劇、コメディア・デッラルテなどとの比較により多面的に考える講演会(司会・解説: 本学外国語学部教授 村田真一)。(日本語開催)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: ヨーロッパ研究所 (問い合わせ i-europe@sophia.ac.jp)
- 共催: 文学部保健体育研究室

11/11^{thu}

シンポジウム

つながる東アジアと米州—新たな「太平洋世界」は形成されるのか

>>> Zoom 17:30~19:30

太平洋を隔てた東アジアと米州には今日、貿易、人の移動、文化、外交など多様な面で新たな展開がみられる。本シンポジウムではイベロアメリカ研究所とアメリカ・カナダ研究所の共同研究の成果をもとに、「国際関係」と「人の流れ」という視点から、地域間関係の諸相を明らかにし、新たな「太平洋世界」の形成を展望する。(日本語開催)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: イベロアメリカ研究所 (問い合わせ ibero@sophia.ac.jp)
- 共催: アメリカ・カナダ研究所

11/11^{thu}

講演会

Dr. Bettina Gramlich-Oka on "Family Networks in the Tokugawa Period"

>>> Zoom 18:30~20:00

The presentation introduces the current state of the Japan Biographical Database (jbdb.jp). The tools of the database allow us to visualize a variety of network types which she will introduce and discuss with a main focus on the records of the Rai family of Hiroshima with records of Rai Shizu and Rai Shunsui. (英語開催: 通訳なし)

- 主な対象者: 大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: 比較文化研究所 (問い合わせ diricc@sophia.ac.jp)



11/12^{fri}
~12/20^{mon}

講演会

今日のスーフィズム: 神秘主義の諸相を知る

>>> Web上で動画公開

スーフィズムやイスラーム神秘主義と呼ばれる信仰と実践が、現在を生きるムスリムの暮らしにどのように関わっているかを、多彩な地域の事例を通し、多様な角度から概説する。※毎週1本ずつ合計5本の講演動画を公開する。

- (日本語開催)
- 主な対象者: 高校生・大学生・一般の方
- 予約: 不要
- 主催: イスラーム研究センター (問い合わせ ias-iac@sophia.ac.jp)
- 共催: 京都大学イスラーム地域研究センター

今回の Sophia Open Research Weeks (SORW) はオンライン開催です。(一部企画を除く)

各企画の予約方法、アクセス情報等については以下 SORW サイトにてご確認ください。

上智大学公式サイト Top から：ホーム > 研究活動 > 研究機関等 > Sophia Open Research Weeks
<https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/kenkyukikan/sorw.html>



QRコードからも
アクセス可

- 掲載している内容は、予告なく変更する場合があります。参加前に SORW サイトで最新情報をご確認ください。
- Zoom等、イベントの視聴環境は各自でご用意ください。視聴環境の整備および通信にかかる費用の負担はいたしかねます。
- 企画ごとに申し込み窓口、方法が異なります。各企画案内に記載の内容をご確認の上申し込み込んでください。知人等にイベントを紹介する際には、各参加申し込み方法をご案内ください。

講演会

11/12

著者と語るシリーズ 『未完の多文化主義：アメリカにおける人種、国家、多様性』

>>> Zoom 17:30～19:00

著者をお招きして開催する講演会シリーズです。今回は『未完の多文化主義：アメリカにおける人種、国家、多様性』を取り上げて、南川文里立命館大学教授に成り立ちや著作の背景などをお話しいたします。

(日本語開催)

- 主な対象者：高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：アメリカ・カナダ研究所 (問い合わせ—instacs@sophia.ac.jp)

講演会

11/13

聖書講座「新約聖書の奇跡物語」

>>> オンラインおよび対面 (会場：中央図書館 8階 821室)
10:25～16:45

新約聖書の奇跡に関する記述を物語テキストとして読む時、テキスト本来の意図と、そこに込められたメッセージが得られる。講座では、新約聖書の奇跡物語はどのように読まれるべきなのか、読解の道標を探る。(日本語開催)

- 主な対象者：大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約 ※本講座のみ有料 (一般1000円/学生800円)
- 主催：キリスト教文化研究所 (問い合わせ—kiriken-co@sophia.ac.jp)
- 共催：カトリック東京大司教区

シンポジウム

11/15

文化的森林生態系サービスの重要性を国際的な視点で探る—新しい森林関連のビジネスチャンスに向けて？— ヨーロッパと日本を結ぶオンライン・ソフィアシンポジウム

>>> Webinar 15:45～21:35

欧州および日本の16名の専門家・実務家が、文化的森林生態系サービス (FES) の重要性に関する研究成果や知見を提供します。特に、ビジネスの新たな源泉と SDGs の枠組みの下でのイノベーションの潜在的な貢献に焦点を当てます。(英語・日本語開催；同時通訳あり)

- 主な対象者：大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：学術研究特別推進費重点領域研究 地球環境学研究所 柴田晋吾先生採択課題「上智大学 INNOFES プロジェクト」(問い合わせ—innofes.symposium@gmail.com)
- 共催：地球環境学研究所、地球環境研究所、欧州森林研究所、SINCERE project

講演会

11/16

第2回半導体ナノフォトニクス研究会

>>> Zoom 16:00～19:30

上智大学および連携研究機関における半導体デバイス関連の研究成果を紹介いたします。本研究会は、上智大学の半導体研究所、フォトニクス研究センター、ナノテクノロジー研究センターによる共催です。(日本語開催)

- 主な対象者：大学生・大学院生・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：フォトニクス研究センター (問い合わせ—sorw-co@sophia.ac.jp 研究機構事務局)
- 共催：半導体研究所、ナノテクノロジー研究センター

ワークショップ/展示

11/18

環境・エネルギーワークショップ

>>> Zoom および対面 (会場：7号館 14階特別室)
13:00～17:00 ※対面は学内者限定。

持続可能な社会の実現に向けて、環境とエネルギーを巡る情勢はますます厳しくなっている。また、自動車の電量化に伴ってモビリティ関連のエネルギー使用形態が大きく変わるだけではなく、災害時の電気自動車活用への期待も高まってきている。本ワークショップは、産官学から環境・エネルギー・自動車の専門家を招き、最新の動向を紹介し、今後のトレンドについて議論する。※展示は地球環境研究所 HP で随時公開。(日本語開催、一部英語：通訳なし)

- 主な対象者：高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：地球環境研究所 (問い合わせ—i-gloenv2-co@sophia.ac.jp)

研究発表

11/18

生物科学領域の大学院生ポスター発表会

>>> Zoom 17:20～19:00

理工学専攻生物科学領域の大学院1年生が現在研究中の内容をポスターで発表します。生物科学の研究に興味のある方はもちろん、大学院への進学を考えている学部生の皆さんにも我々の研究活動を知っていただきたいと思えます。Zoomによるオンライン開催です。(日本語開催)

- 主な対象者：大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：理工学研究科 生物科学領域 (問い合わせ—sorw-co@sophia.ac.jp 研究機構事務局)

講演会

11/18

Caritas in Society / 社会のなかのカリタス

>>> Zoom 18:00～19:30

What is Caritas Science? Professor Klaus Baumann, a Catholic priest and psychotherapist, will introduce us to Caritas Science, an interdisciplinary academic field focusing on the study of theory and practice concerning Christian charity. He will talk to us about the concept and history of the Department of Caritas Science at the University of Freiburg which he heads, its educational program, and his latest research projects concerning spirituality and care. (英語開催；逐次通訳)

- 主な対象者：高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者・その他(キリスト教教会関係者)
- 予約：要事前予約
- 主催：グローバル・コンサーン研究所 (問い合わせ—i-glocon@sophia.ac.jp)
- 共催：Institut für Caritaswissenschaft, Universität Freiburg

講演会

11/18

「教皇史」を学ぶ—G・バラクローウ『中世教皇史[改訂増補版]』藤崎衛訳(八坂書房)の刊行を記念して

>>> Webinar 19:00～20:30

本年2月に、G. バラクローウ『中世教皇史』藤崎衛訳(八坂書房)の増補改訂版が刊行されました。本企画では、翻訳者・藤崎衛先生を講師としてお迎えし、改めて本書をご紹介いただきながら、教皇史を学ぶことの意味、現在の研究動向、世俗史と教会史の関係、などをお話しいたします。(日本語開催)

- 主な対象者：高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約：要事前予約
- 主催：中世思想研究所 (問い合わせ—imdtghgt@sophia.ac.jp)

研究発表

11/20 sat

生成文法理論研究の成果と展望

>>> Zoom 13:00~15:00

米国の言語学者ノーム・チョムスキーによって提唱された生成文法理論に基づく研究成果を発表します。理論言語学に興味のある方はもちろん、他分野の方にも研究成果を理解していただけるようお話するつもりです。(日本語開催)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: 国際言語情報研究所 (問い合わせ—i-lincom@sophia.ac.jp)

講演会

11/20 sat

胃袋を満たす国家の戦略—戦後日本・インド・エジプトの事例から

>>> Zoom 13:00~15:00

コロナ禍と気候変動の現代、食糧問題が改めて注目を集める。地域と時代を超え、国家はいかにして人々の胃袋を満たしてきたのか? 戦後日本、インド、エジプトの事例から、危機の時代の食糧供給システムの構築と変遷等について考察を行う。(日本語開催)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: イスラーム研究センター (問い合わせ—ias-iac@sophia.ac.jp)
- 共催: 科研費基盤研究B「ムスリム社会におけるマサラハ(福利)の実践—弱者の権利をめぐる比較研究」(代表: 堀井聡江)

講演会

11/20 sat

本当にASD? 自閉症スペクトラム障害再考—「感情爆発の障害」(秩序破壊・衝動制御・素行症)との鑑別

>>> 対面 (会場: 6号館2階205室) 13:30~15:00

発達障害の社会的認知の高まりとともに、発達障害の一種である自閉症スペクトラム障害の理解が広がりつつあるが、感情爆発の障害(秩序破壊・衝動制御・素行症)が自閉症と、誤診断されていることが少なくない。両障害への対応は本質的に異なり、正確な理解に基づく鑑別が必要である。(日本語開催)

- 主な対象者: 大学生・大学院生・一般の方・その他(発達支援に関わる専門職(心理職、言語聴覚士、教員、保育士等))
- 予約: 要事前予約
- 主催: 国際言語情報研究所 言語聴覚研究センター (問い合わせ—i-linsh@sophia.ac.jp)

シンポジウム

11/20 sat

番組アーカイブの意義と未来の活用2021—ポストコロナ時代の番組アーカイブの利活用

>>> Webinar 14:00~16:00

本年度の番組アーカイブ・セミナーでは、コロナ禍の経験を踏まえ、番組アーカイブの利活用にはどのような可能性が見いだされたのか。ポストコロナに向けた映像アーカイブの意義、番組アーカイブの利活用と今後の展望と可能性などについて検討する。(日本語開催)

- 主な対象者: 大学生・大学院生・研究者・その他(メディア関係者、博物館・図書館関係者、アーキビスト、行政関係者)
- 予約: 要事前予約
- 主催: メディア・ジャーナリズム研究所、公益財団法人放送番組センター (問い合わせ—sorw-co@sophia.ac.jp 研究機構事務局)

講演会

11/20 sat

脳のはなし—左の脳と右の脳

>>> 対面 (会場: 6号館2階205室) 15:15~16:45

脳、特に大脳の新皮質は、言語や判断、思考などヒトの行う最も高次の機能をつかさどっている。この脳の機能と言語・行動の関わりをわかりやすくお話いただき、我々に与えられた能力を改めて考える機会としたい。(日本語開催)

- 主な対象者: 大学生・大学院生・一般の方・言語聴覚士等
- 予約: 要事前予約
- 主催: 国際言語情報研究所 言語聴覚研究センター (問い合わせ—i-linsh@sophia.ac.jp)

映画上映会

11/21 sun

映画「House in the Fields」上映会

>>> Zoom / Webinar 13:00~15:00

モロッコ山村での姉妹の生活を扱うドキュメンタリーを上映し、マグリブ研究者である鷹木恵子教授(桜美林大学)に解説いただくことで、マグリブ(北アフリカ)農村における女性と家族の暮らしを多面的に理解する。(映画はベルベル語・アラビア語に英語字幕; 解説は日本語)

- 主な対象者: 高校生・大学生・大学院生・一般の方・研究者
- 予約: 要事前予約
- 主催: アジア文化研究所 (問い合わせ—i-asianc@sophia.ac.jp)
- 共催: イスラーム研究センター、科研費基盤(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表: 長澤栄治)

上智大学研究機構について

上智大学の特色ある学術研究の体系的かつ効果的な遂行と、人材養成及び研究成果の学内外への発信を目的として2005年4月に設置されました。「常設研究部門」、「時限研究部門」の2つの研究部門から成り、各部門は1つの研究活動ユニットである「研究単位」(研究グループ)によって構成されています。

常設研究部門

11 研究所が持続的研究を推進し、その結果を本学の教育だけでなく、広く社会に還元することを目的に活動を行っています。

時限研究部門

学外の組織等から提供される研究資金を獲得した研究グループにより、現在6つの研究センターが設置されています。

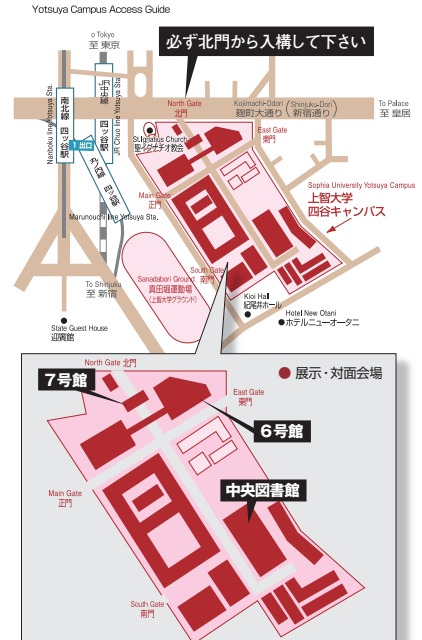
常設研究部門 (公式サイト: <https://dept.sophia.ac.jp/is/rid/>)

- | | |
|----------------|-----------------|
| キリスト教文化研究所 | ヨーロッパ研究所 |
| 中世思想研究所 | アジア文化研究所 |
| イペロアメリカ研究所 | アメリカ・カナダ研究所 |
| 国際言語情報研究所 | 地球環境研究所 |
| グローバル・コンサーン研究所 | メディア・ジャーナリズム研究所 |
| 比較文化研究所 | |

時限研究部門

- | |
|---------------------|
| ナノテクノロジー研究センター |
| イスラーム研究センター |
| サステナブルエネルギー研究センター |
| 次世代航空機CAE技術研究開発センター |
| 人間の安全保障研究所 |
| フォトンクス研究センター |

四谷キャンパスアクセスガイド



主催 上智大学研究機構 [連絡先] 上智大学研究機構事務局 (研究推進センター)

E-mail: sorw-co@sophia.ac.jp <https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/kenkyukikan/sorw.html>

*企画に関するご質問等は、各企画の問い合わせ先にお問い合わせください。